

・区分	1010 ソフト部門
タイトル	ヒヤリハットの報告と朝礼への活用
動機・改善前の状況	現場におけるヒヤリハットは、事故・災害に至る直前の現象であり、現場全員に周知する事により、災害予防につながると思うが、現状は、隠す傾向にあり貴重な情報が生かされていない。
改善・実施事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒヤリハットが発生した場合、作業終了時に各職長から報告書により報告させる。(報告した職長を非難せず、誉めてやる) 2. 翌日の朝礼時に全員に周知する。(発表者は元請が行う)
改善効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒヤリハットの報告をすることにより、災害につながる危険要因を全作業員で共有でき、事前に排除することができた。(危険要因の排除) 2. 自分の働く身近な危険要因は、自分自身に係る要因が多くあり、危険箇所を隠す体質から、皆で共有する体質に変わった。その結果、早めの改善につながり、作業員の安全に対する意識が高まった。(安全意識の高揚)
活動内容 改善事項の図、 写真	 <p>横断幕</p>  <p>終業時のミーティング</p>

「ヒヤリ」とした「ハット」したこと 6月7日

いつ頃(時間帯)	どこで	どんな状況でどうなっ	なぜ
-	A.B.C.D棟	外部塗装中、所振りが	作業安全確認を行動の
10:00	A棟	面々の釘が221230	釘が落ちる
-	B棟	スライダの釘が221230	-
-	B棟	水まわりの配管が221230	足元がぬかる
4:00	C棟	電線が9:00の作業中	作業安全確認を行動の

ヒヤリハット掲示板

活動内容
改善事項の図、
写真